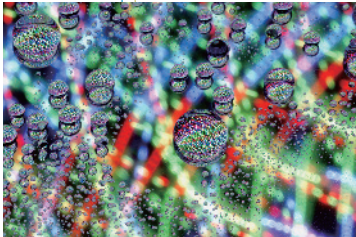
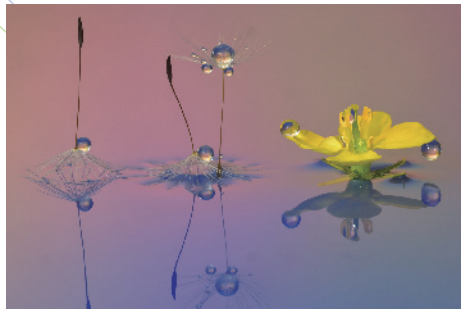


TAMRON

株主通信

第72期 中間報告書



2018年1月1日



2018年6月30日



代表取締役社長 鯨坂 司郎

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り暑く御礼申し上げます。
 当社第72期上半期(2018年1月1日~2018年6月30日)の営業概要について、ご報告申し上げます。
 当上半期における経営環境は、新興国経済や通商問題の動向等の懸念を抱えながらも、世界経済は緩やかな景気回復基調で推移しました。
 このような状況の下、当社グループの当上半期における経営成績は、主力事業の写真関連事業が好調に推移したことにより、売上高は285億72百万円(前年同期比6.2%増)となりました。
 利益面につきましては、増収ながらも販売費および一般管理費を前年同期以下に抑えたことに加え、円安ユーロ高による為替のプラス影響もあり、営業利益は19億59百万円(前年同期比66.4%増)、経常利益は20億90百万円(前年同期比82.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億85百万円(前年同期比73.8%増)と、大幅な増益となりました。

通期の見通しについて

当上半期の業績が計画を上回ったことや、各事業分野における直近の市場環境や新機種投入時期を踏まえた販売見込み等を考慮し、通期の利益見通しにつきましても上方修正いたしました。自社ブランド交換レンズの新製品の積極投入や、ドローン・車載等成長市場での売上拡大を図り、2期連続増収増益を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、これからも引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

配当金について

中間配当金につきましては、当上半期業績や財務状況等を総合的に勘案し、前年と同額となる1株につき25円とさせていただきます。

Contents

ごあいさつ	1	連結財務ハイライト	7
トピックス	2	連結財務諸表	8
最新情報	3	タムロンのものづくり	9
フォトコンテスト開催告知	4	会社情報	10
セグメント別事業の概況	5-6		

Topics トピックス

開発情報

グローバルシャッター CMOSセンサー搭載 30倍ズームカメラモジュールを開発

このたび当社は、主にFA/マシンビジョン用カメラに使用されて、動く被写体でも歪みの少ない画像が得られる「グローバルシャッター CMOSセンサー」をカメラモジュールに採用しました。
 これにより光学30倍ズーム、Full HD対応の「グローバルシャッター CMOSセンサー搭載 30倍ズーム カメラモジュール」の開発を実現しました。



MP2030M-GS

新製品発売

70-210mm F/4 Di VC USD (Model A034) 発売

70-210mm F/4 Di VC USD (Model A034)はこれまでの望遠ズームレンズ開発のノウハウを活かし、ズーム全域で高い光学性能を実現しました。また、LD(異常低分散)レンズを3枚使用することで撮影時の色収差を良好に補正。画面周辺までクリアに描きます。



Model A034

新製品発売

こだわりの描写性能と機動性を誇る、タムロン初の35mmフルサイズミラーレス一眼カメラ対応大口徑標準ズームレンズ 28-75mm F/2.8 Di III RXD (Model A036) を発売

当社の先端技術を小さなボディに詰め込み、ミラーレスカメラ専用の新設計。28-75mm F/2.8 Di III RXD (Model A036)は高い解像力と柔らかなボケ味を両立した、35mmフルサイズミラーレス一眼カメラ対応のソニー Eマウント用大口徑標準ズームレンズです。

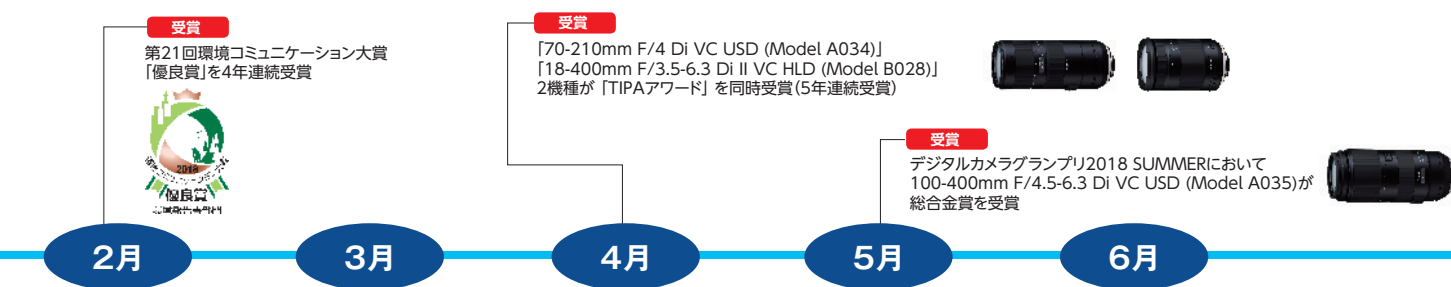


Model A036

お知らせ

青森県・弘前工場が操業50周年

当社グループの国内生産拠点の1つである弘前工場が操業50周年を迎えました。現在青森県には3つの工場があり、それぞれが当社グループにおける「マザー工場」としての役割を担っています。今後も高度な製造技術等により当社グループのグローバルな生産体制を支えていきます。



新製品紹介

クラス最小・最軽量※1)超広角ズームレンズ誕生
コンパクトさと高い描写性能の両立を実現

17-35mm F/2.8-4
Di OSD
(Model A037)

※1) 35mm判フルサイズ対応の現行のデジタル一眼レフカメラ用F/4より明るい超広角ズームレンズにおいて。(2018年7月現在。タムロン調べ)



超高画質、進化した大口径超広角ズームレンズ

SP 15-30mm F/2.8
Di VC USD G2
(Model A041)



受賞

EISAアワード2機種同時受賞 タムロンレンズは13年連続受賞の快挙!

28-75mm F/2.8
Di III RXD
(Model A036)



70-210mm F/4
Di VC USD
(Model A034)



マクロレンズを楽しもう!

作品募集中

第15回 風景、植物、ポートレート、スナップ、テーブルフォト…
あなたの“マクロレンズを通して見た世界”をご応募ください。

タムロン・マクロレンズ フォトコンテスト

募集期間 2018.6.1(金) → 10.15(月)



グランプリ (全応募作品より選出・1名) 賞金 20万円 + 副賞 タムロンレンズ

ネイチャーの部

植物や昆虫、小動物などのネイチャー写真を対象とします。

金賞(2名)	賞金 5万円 + 副賞タムロンレンズ
銀賞(2名)	賞金 5万円
銅賞(4名)	賞金 1万円
入選(5名)	賞金 5千円
タムロン賞*(1名)	賞金 5万円

審査員 石井 孝親 氏(写真家)

ノンジャンルの部

人物・アクセサリ・料理など、ネイチャー写真に限らず広く対象とします。

金賞(2名)	賞金 5万円 + 副賞タムロンレンズ
銀賞(2名)	賞金 5万円
銅賞(4名)	賞金 1万円
入選(5名)	賞金 5千円
タムロン賞*(1名)	賞金 5万円

審査員 岡本 洋子 氏(写真家)

※タムロン賞…タムロンマクロレンズで撮影された作品から選出されます。



第14回受賞作品より

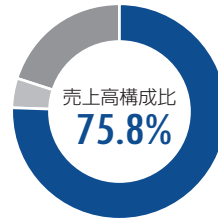
応募の詳細や規約等につきましては、本コンテストのウェブサイトでご確認ください。 <http://www.tamron.jp/special/contest/macrocon2018/>

セグメント別事業の概況

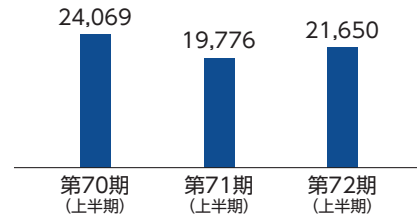
写真関連事業

自社ブランドは米国と日本を中心に好調に推移し増収となりました。前年下期に発売した超望遠高倍率ズームレンズ 18-400mm F/3.5-6.3 Di II VC HLD (B028)、大口径標準ズームレンズ SP 24-70mm F/2.8 Di VC USD G2 (A032)、超望遠ズームレンズ 100-400mm F/4.5-6.3 Di VC USD (A035) や、今年4月に発売した超望遠ズームレンズ 70-210mm F/4 Di VC USD (A034)、今年5月に発売した当社初となる35mmフルサイズミラーレス一眼カメラ対応大口径標準ズームレンズ 28-75mm F/2.8 Di III RXD (A036)等の新製品が、売上増とともに利益率の改善に寄与し業績を牽引いたしました。

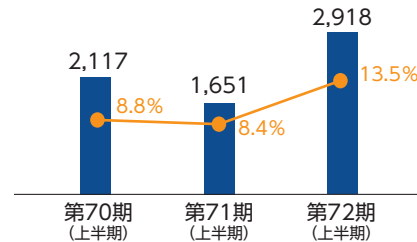
なお、OEM関連も前年並みの売上高を維持いたしました。このような結果、写真関連事業の売上高は216億50百万円(前年同期比9.5%増)、営業利益は29億18百万円(前年同期比76.7%増)と、大幅な増収増益となりました。



売上高 (百万円)

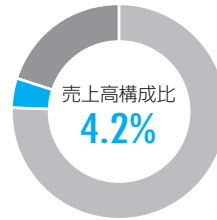


営業利益(百万円)／営業利益率

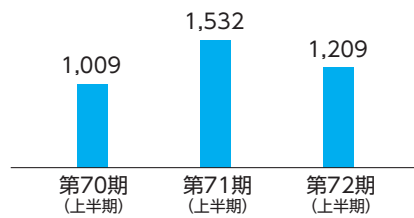


レンズ関連事業

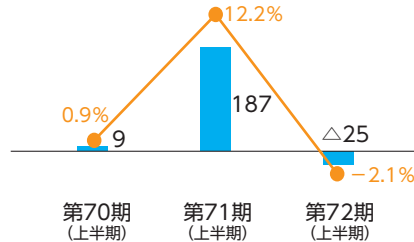
コンパクトデジタルカメラ用レンズやビデオカメラ用レンズが市場の大幅縮小に伴い減収となりました。このような結果、レンズ関連事業の売上高は12億9百万円(前年同期比21.0%減)、営業損失25百万円(前年同期は営業利益1億87百万円)となりました。



売上高 (百万円)



営業利益(百万円)／営業利益率

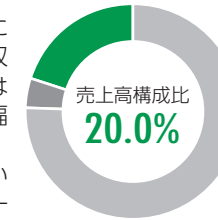


特機関連事業

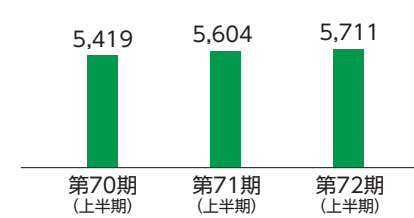
監視カメラ用レンズは円高ドル安による為替のマイナス影響等もあり減収となりましたが、車載カメラ用レンズは前年同様に高い成長率を維持し大幅増収となりました。

なお、動く被写体でも歪みの少ない画像が得られるグローバルシャッターCMOSセンサーを搭載した30倍ズームのカメラモジュールの開発や、光学防振機構搭載の超小型カメラモジュールのラインナップの拡充等もいたしました。

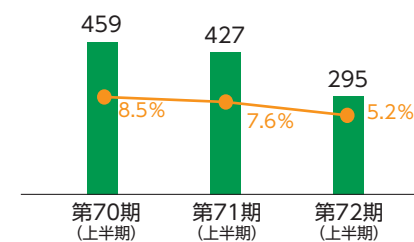
このような結果、特機関連事業の売上高は57億11百万円(前年同期比1.9%増)、営業利益は2億95百万円(前年同期比30.9%減)となりました。



売上高 (百万円)



営業利益(百万円)／営業利益率



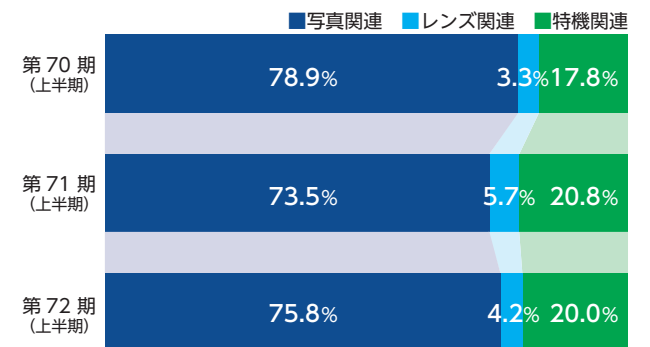
セグメント別業績の推移

(百万円)

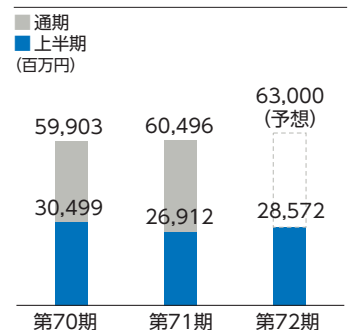
		第70期 (上半期)	第71期 (上半期)	第72期 (上半期)
写真関連	売上高	24,069	19,776	21,650
	セグメント利益	2,117	1,651	2,918
レンズ関連	売上高	1,009	1,532	1,209
	セグメント利益または損失	9	187	△25
特機関連	売上高	5,419	5,604	5,711
	セグメント利益	459	427	295
セグメント利益の調整額*		△ 1,209	△ 1,089	△ 1,228
連結営業利益		1,377	1,177	1,959

*セグメント利益の調整額とは、当社の総務、経理等の本社部門に係わる配賦不能営業費用等です。

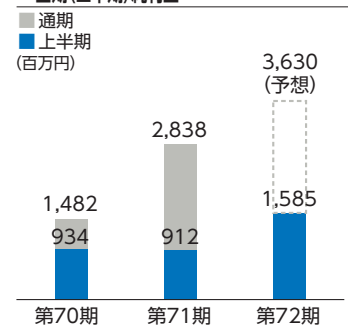
連結売上高構成比率の推移



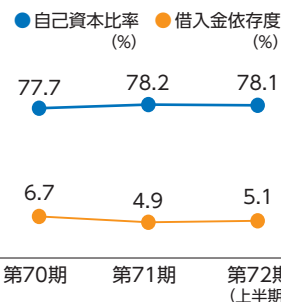
●売上高 ↑ 前年同期比 **6.2%**



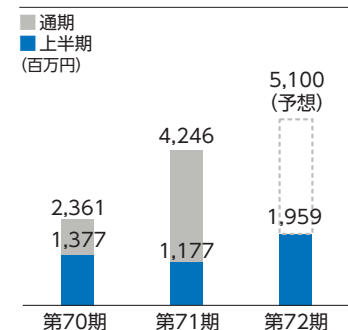
●親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益 ↑ 前年同期比 **73.8%**



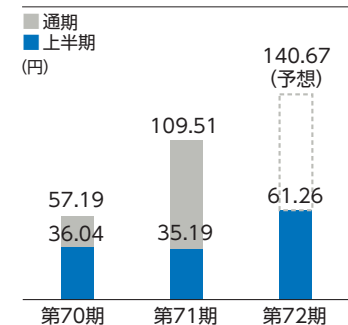
●自己資本比率／借入金依存度



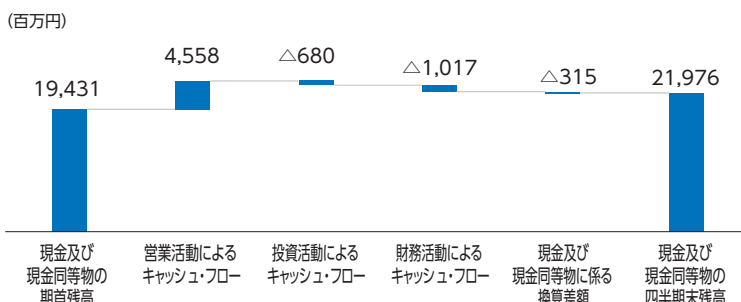
●営業利益 ↑ 前年同期比 **66.4%**



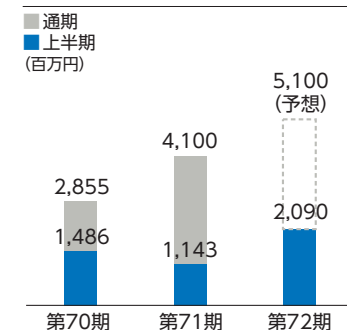
●1株当たり当期(四半期)純利益



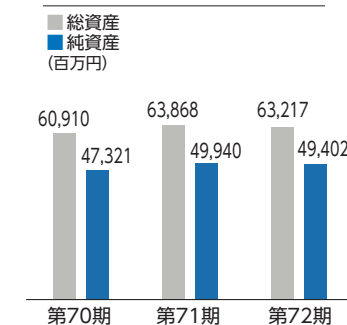
●キャッシュ・フロー (第72期上半期)



●経常利益 ↑ 前年同期比 **82.9%**



●総資産／純資産



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 (2018年6月30日現在)	前期末 (2017年12月31日現在)
資産の部		
流動資産	45,958	45,392
固定資産	17,258	18,476
資産合計	63,217	63,868
負債の部		
流動負債	11,470	11,931
固定負債	2,344	1,996
負債合計	13,814	13,928
純資産の部		
株主資本	46,337	45,829
その他の包括利益累計額	3,065	4,110
純資産合計	49,402	49,940
負債純資産合計	63,217	63,868

Point

流動資産

受取手形及び売掛金が18億39百万円減少した一方、現金及び預金が25億44百万円増加したこと等により、流動資産は前期末に比べて5億65百万円増加し、459億58百万円となりました。

流動負債

買掛金が3億62百万円減少したこと等により、流動負債は前期末に比べて4億61百万円減少し、114億70百万円となりました。

純資産

自己株式が4億29百万円増加したこと等により、純資産は前期末に比べて5億37百万円減少し、494億2百万円となりました。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 (2018年1月1日から 2018年6月30日まで)	前第2四半期累計 (2017年1月1日から 2017年6月30日まで)
売上高	28,572	26,912
売上原価	18,911	17,910
売上総利益	9,661	9,002
販売費及び一般管理費	7,701	7,825
営業利益	1,959	1,177
営業外収益	192	151
営業外費用	60	185
経常利益	2,090	1,143
特別利益	85	122
税金等調整前四半期純利益	2,176	1,265
法人税等	591	353
四半期純利益	1,585	912
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,585	912

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 (2018年1月1日から 2018年6月30日まで)	前第2四半期累計 (2017年1月1日から 2017年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,558	4,250
投資活動によるキャッシュ・フロー	△680	△1,194
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,017	△1,358
現金及び現金同等物に係る換算差額	△315	△82
現金及び現金同等物の増減額	2,544	1,615
現金及び現金同等物の期首残高	19,431	16,030
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,976	17,645

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益が21億76百万円、減価償却費が14億79百万円、売上債権の減少額が13億14百万円となったこと等により、営業活動によるキャッシュ・フローは45億58百万円の収入(前年同期は42億50百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出が5億86百万円となったこと等により、投資活動によるキャッシュ・フローは6億80百万円の支出(前年同期は11億94百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の返済による支出が3億19百万円、配当金の支払額が6億48百万円あったこと等により、財務活動によるキャッシュ・フローは10億17百万円の支出(前年同期は13億58百万円の支出)となりました。

VIRTUAL TOUR

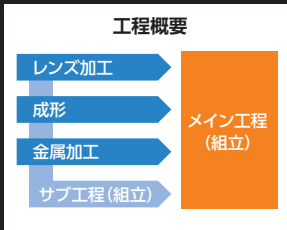
CAMERA LENS MANUFACTURING

一眼レフ用レンズができるまで

<http://www.tamron.co.jp/monozukuri/>

組立編

タムロンの一眼レフ用ズームレンズは、約250個もの部品を使用しています。研磨やコーティングを経てレンズを仕上げる「レンズ加工」、プラスチック材料を金型で射出する「成形」、アルミダイキャストを削り出す「金属加工」の3工程で部品を製造します。組立工程では、サブ工程で手ブレ補正機構、AF用ドライブ機構、絞り機構などをユニット化し、メイン工程で各ユニットとレンズ群がひとつの鏡枠に組み込まれます。各工程で各種の検査を繰り返し、調整を行い、組立を完了します。今回は、組立工程についてご紹介します。



サブライン組立：絞りユニット

絞り羽根などをひとつのユニットに組み立てていきます。



サブライン組立：手ブレ補正ユニット

タムロン独自の手ブレ補正機構「VC」は、センサや補正レンズなど複数の部品で構成されています。



サブライン組立：AFアクチュエーター

AFアクチュエーターは組立後、通電してモーター動作を確認します。

サブラインからメインラインへ

各ユニット、カム筒、鏡枠、レンズなどの全部品が、メインラインに集結します。最大で250個の部品を組み上げるメインライン組立が始まります。



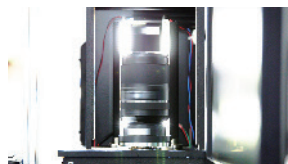
MTF検査

組み立てられたレンズは詳細に検査されます。MTF(モジュレーション・トランスファー・ファンクション)検査装置で、レンズ性能を細かく確認します。



外観測定

全ての検査工程を終えたレンズは、外観測定機で最終検査されます。その後、出荷工程へ進められます。



出荷

パッケージに入れられた製品が、全世界のお客様に届けられます。



会社概要

商号	株式会社タムロン
創業	1950年11月1日
設立	1952年10月27日
本社	埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地
資本金	69億23百万円
従業員数	5,058名(連結)

役員

代表取締役社長	鯨坂 司郎
取締役副社長	桜庭 省吾
取締役副社長	阿保 正行
専務取締役	川鍋 宏
常務取締役	増成 弘治
常務取締役	北爪 泰樹
取締役	大塚 博司
取締役	張 勝海
取締役	大谷 真人
取締役	岡安 朋英
取締役	佐藤 勇一*
取締役	片桐 春美*
常勤監査役	土屋 次男
常勤監査役	並木 孝行*
監査役	利根 忠博*
監査役	西本 恭彦*

注1. *印の取締役は社外取締役、監査役は社外監査役であります。
 注2. 当社は、取締役 佐藤 勇一、取締役 片桐 春美及び監査役 並木 孝行を東京証券取引所の定める独立役員として、同取引所に対し届け出ています。

株式の状況

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	25,950,000株
単元株式数	100株
株主数	4,625名 ※単元未満除く

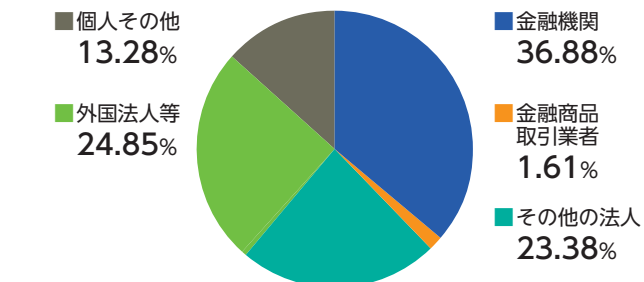
■大株主

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
株式会社ニューウェル	4,898	18.87
ソニー株式会社	3,129	12.06
株式会社埼玉りそな銀行	1,122	4.32
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,058	4.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	791	3.05
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	725	2.79
HAITONG INTERNATIONAL SECURITIES COMPANY LIMITED 700700	701	2.70
日本生命保険相互会社	580	2.23
BNP PARIBAS SEC SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/ ABERDEEN GLOBAL CLIENT ASSETS	580	2.23
GOVERNMENT OF NORWAY	519	2.00

注. ソニー株式会社の持株数3,129千株は、みずほ信託銀行株式会社へ委託した信託財産であります。信託約款上、議決権の行使並びに処分権については、ソニー株式会社が指図権を留保しております。

■株式所有者別分布

※単元未満除く




株主メモ


事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会 毎年 12月31日 期末配当 毎年 12月31日 中間配当 毎年 6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) ※ 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告 ※ ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 当社ホームページ http://www.tamron.co.jp

お知らせ

- **住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について**
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **未払配当金の支払について**
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ソーシャルメディア 公式アカウント

 <https://twitter.com/TamronJP>
タムロン製品・サービスに関する最新情報やイベント情報、企業情報など幅広い情報をいち早くお届けします。

 <https://www.facebook.com/tamron.highpowerzoom>
写真レンズに関する製品情報の他、最新のHPコンテンツ紹介、フォトコンテストや各種イベント・キャンペーン情報を発信しています。

 <https://www.instagram.com/tamronjp/>
タムロンレンズで撮影された写真をアップしていきます。ユーザー参加型のイベントの他、#tamronを付けて投稿頂いた写真には積極的にいいねさせていただきます。

 <https://www.youtube.com/user/tamronjp>
CSR活動や、タムロンのものづくり、写真家による製品レビューなど、タムロンの取り組みを動画で発信しています。

株式会社タムロン

〒337-8556 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地
TEL 048-684-9111(代) FAX 048-683-8289 <http://www.tamron.co.jp>

■ IR情報関連に関するお問い合わせ：経営企画室

TEL 048-684-9114(午前9:00~午後5:20) FAX 048-683-8282 e-mail: kabushiki@tamron.co.jp

ホームページのご紹介

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、商品のご紹介からIR情報に至るまでの様々な情報を掲載しています。
ぜひご活用ください。

主な掲載コンテンツ

- 企業情報
- 製品一覧
- IR情報
- CSR情報
- 採用情報
- サポート・ダウンロード

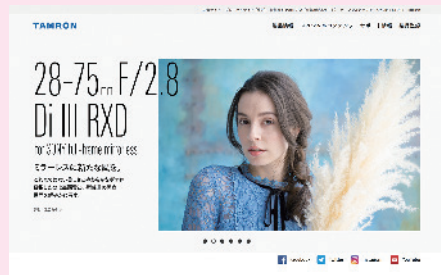
コーポレートサイト

URL <http://www.tamron.co.jp>



フォトサイト (写真レンズ用フォトサイト)

URL <http://www.tamron.jp>



UD FONT
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



本冊子は環境保全のため、植物油インキで印刷しています。